

ホーム > ニュース > Inside News > 三井物産プラントシステム、PPA案件で太陽光開発を展開



三井物産プラントシステム、PPA案件で太陽光開発を展開

2022年05月号 Inside News



茨城県八千代町のエフピコ工場に設置した2.9MWの太陽光パネル

三井物産プラントシステム（東京都港区、谷垣匡輝社長）は2022年4月4日、食品トレー容器製造のエフピコの工場に太陽発電設備を設置すると発表した。三菱HCキャピタルエナジーによるオンサイトPPA（電力売買契約）案件で、三井物産プラントシステムは開発を手掛ける。

三井物産プラントシステムは、シャープエネルギーソリューションに施工を委託。岐阜県輪之内町内のエフピコ中部リサイクル工場の屋根にシャープ製パネルを設置し、直流出力は計1826kWとした。PCS（パワーコンディショナ）は中・ファウウェイ製125kW機を10台設置し、交流出力は計1250kWとした。22年10月末の稼働を予定している。

エフピコは三菱HCキャピタルエナジーと20年のPPAを結び、再生可能エネルギー電力を調達。設備が生み出す年間発電量213万7025kWhを全量消費する見込み。

三井物産プラントシステム次世代事業開発本部開発第一部の菊池陽一グループリーダーは、「当社の強みは開発や事業構築。三菱HCキャピタルエナジーさんには設備の長期運営に関するノウハウがあり、適材適所で協業した」と経緯を語る。

三井物産プラントシステムは茨城県八千代町のエフピコの工場にも太陽光発電設備を導入している。ネクストエネルギー・アンド・リソース製パネルを計2.9MW、ファウウェイ製PCSを計1.9MW設置し、全量消費する設計を施した。三菱HCキャピタルエナジーがエフピコと20年のPPAを交わし、設備を22年3月に稼働させている。

エフピコは21年2月に『リサイクルでカーボンオフセット宣言』を策定し、脱炭素経営を推進。同社経営企画室の伊藤佑馬氏は、「工場の使用電力の再エネ化を進めつつ、先々はオフィスの使用電力も再エネに切り替えたい」と語った。

Inside News を読む

一覧を見る

中国電力、オフサイトPPA開始

村田製作所と契約

2022年05月号

日本カーボンニュートラル推進協議会 設立記念会開催

2022年05月号

PR

未経験歓迎×月給28万円～
資格取得支援あり!
国家資格取得も!
施工管理
賞与年2回
資格手当あり
株式会社エコストایل [詳しくはこちら](#)

PR記事一覧

記事検索

検索

① PVeye 最新号のご案内



2022年5月号

商機拡大の兆し、[※]非FIT、新時代の太陽光運用ビジネス

詳細を見る

年間購読のご案内

オムロンソーシアル 産業用蓄電設備発売へ

2022年05月号

タカラレーベン、大阪ガスと太陽光発電所開発で協業

2022年05月号

WEB

[PVeyeとは](#) [広告掲載のご案内](#) [取り扱い書店](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [個人情報保護方針](#) [利用規約](#) [特定商取引法に関する記述](#)
[購読のお申込み](#) [最新号のご案内](#) [定期購読のご案内](#) [バックナンバーのご案内](#)